

## 教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和元年8月23日(金) 午前8時45分～午前10時15分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君      2番 井上 靖史君  
3番 山本 香織君      4番 沼田 芳美君  
5番 村上 惠宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成      次長兼教育総務課長 岸 弘美  
教育指導課長 操上 俊樹      幼児教育課長 稲葉 祐人  
生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 鈴木 慎一  
教育総務課課長補佐 太田 靖久      主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

**教育長**：ただ今から伊東市教育委員会8月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

**教育長**：それでは議事に入る。始めに6月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

(意見なし)

**教育長**：6月定例会会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

**教育長**：承認が得られたので、6月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は井上委員にお願いする。

**教育長**：次に、7月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

(意見なし)

**教育長**：7月定例会会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

**教育長**：承認が得られたので、7月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は井上委員にお願いする。

**教育長**：続いて、教育長報告を行う。8月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

- 7月11日 人事管理訪問（東小・門野中）タウンミーティング（湯川）
- 12日 教頭会、南幼稚園保護者会、伊東市史編さん委員会
- 14日 オール伊豆ママさんバレーボール大会
- 16日 西ロータリークラブとの情報交換会
- 17日 人事管理訪問（対島中・八幡野小）
- 18日 人事管理訪問（南小・川奈小）、タウンミーティング（岡）
- 19日 鎌田幼稚園保護者会、市P連協議会理事会、池小ホテル合宿
- 23日 県教委特別支援課長来庁、校長会要望、  
市内高校全国大会出場選手市長表敬訪問
- 24日 市町教育長協議会
- 25日 伊東市学校保健会総会、いでゆ大学キャンプ訪問、  
ふるさと教室漁業体験見学
- 26日 伊東市文化振興会議
- 28日 ミュージカル伊東祐親物語
- 29日 福島のこどもたちの夏休み保養ステイ訪問
- 30日 全国小学生バドミントン大会出場選手市長表敬訪問、  
未来ビジョン会議
- 31日 退職者叙勲表彰者宅へ訪問、伊東記者クラブとの情報交換会

- 8月 2日 善行賞打合せ会、市立保育園・幼稚園長との懇談会
- 3日 オール伊豆少年野球学童部大会、YMCA青少年キャンプ
- 5日 伊東市生徒指導協議会
- 6日 県教育委員会教育部長来庁
- 7日 政策会議、伊東市男女共同参画プラン推進会議
- 8日 市教育機関職員試験委員会
- 10日 伊東市表彰式、第73回按針祭式典
- 11日 海上自衛隊横須賀警備隊歓迎式典
- 19日 伊東市総合計画高校生ワークショップ、  
中体連全国大会出場選手（南中陸上女子リレー）市長表敬訪問
- 20日 伊東市総合計画高校生ワークショップ発表会、  
北里柴三郎について親子で楽しむ講話会
- 22日 静東教育事務所11市課長会、小学生の船出発式
- 23日 教育委員会定例会、総合教育会議、市長答弁調整

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

**委員：**8月2日の市立保育園・幼稚園長との懇談会は、どのような話の内容だったのか教えていただきたい。

**教育長：**保育園の園長会長と幼稚園の園長会長に来てもらい、今後の園の在り方や幼児教育の進め方、現在の課題等について意見交換を行った。初めての試みであった。

**稲葉幼児教育課長：**児童数の減少に対してどういう対応が必要かについて、今後の方向性を検討していきたいという趣旨の下、今回限りではなく何回か行う予定である。

**委員：**7月16日の西ロータリークラブとの情報交換会について、出席してい

ただき感謝申し上げます。前年の40周年の際は「未来を担う子どもたちのために」をテーマにし、また日頃より教育や子どもたちのために活動しているので、今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

**委員**：8月19日及び20日の伊東市総合計画高校生ワークショップについて、どのような内容が出たのか教えていただきたい。

**教育長**：伊東高校4人、伊東商業高校4人、伊東高校城ヶ崎分校2人の高校生10人に参加していただいた。伊東市では現在第5次総合計画を作成しているところであるため、それに基づき伊東市の現状及び将来像を語る場となった。若い意見を取り入れてほしいや行事を市民が知らない等の意見が出た。また、キネマ通りの活性化やインスタ映えやSNSを利用した情報発信、観光・文化・教育において将来どうしたいか等の意見交換が行われた。一人一人しっかり意見を持っており、私たちとは発想が全然違うと感じた。

**教育長**：それでは、各委員からの報告をお願いします。

(報告なし)

**教育長**：それでは、議題に入る。始めに議決事項、教議第8号「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針について」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

**教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：修正理由No.6について、保護者説明会で多く意見が出たかと思うが、修正案の中では北中学校の方向性は示せていない。今後どうするのか、また質問が出るのではないか。修正案としては具体例を示せた方が良いのではないか。修正理由No.14について、防災拠点として学校よりコミセンや生涯学習センターの方が機能が充実しているように感じる。学校を避難場所として使うのは分かるが、優先順位を示せたら良いのではないか。

**事務局**：No.6 について、北中学校の方向性はまだ煮詰まっていないため方向性を示せていない。同じような質問は出るかと思うが、後期の対応とし小学校の統廃合を進めながら並行して検討を進めていきたい。No.14 について、学校は基本的に一時避難をする広域避難場所に指定されており、体育館等は避難場所を兼ねているため、その機能は維持していきたいと思う。それにより、保護者や地域の方の不安を少し軽減できるのではないかと考えている。コミセンや生涯学習センターは住民等が一時的に滞在するための避難所としてのみ指定されており、優先順位ということではなく、機能として別のものである。

**岸次長教育総務課長**：学校の避難場所に関する意見が特に多かったのは、西小学校を広域避難場所としている岡・松原・玖須美の一部の地区の方からである。その地区にはコミセン等の施設が備わっていないため、やはり一番に避難するのは西小学校であり、第一次的に区の住民が避難できる場所を確保してほしいという意見が出ている。川奈地区においても、港側の住民はまず川奈小学校のグラウンドに集まるような避難計画もあり、変更しないでほしいという意見がある。コミセンが備わっている地域だと、安全で快適かと思うが、備わっていない地域は学校が防災拠点として重要な場所である。

**委員**：跡地利用を含め、防災拠点としていつまで使用できるのか質問は無かったのか。

**事務局**：跡地についてどういった活用をするか、方針が議決された後に具体的に検討していくこととなる。跡地利用があったとしても防災拠点の機能は維持していきたい。

**委員**：修正理由No.10 について、スクールバス等の要望は多かったかと思う。

「心掛けます」では曖昧になってしまうので、「します」と言い切った方が良いのではないか。

**教育長**：スクールバスは大きな問題だと思うが、予算も絡むことなので現時点で言い切ることが難しい。子どもたちの安全を第一に費用も含め一番良い方法を模索していきたい。

**委員**：保護者からも学区に関する意見が多かったと思うが、保護者からすると、安全に通ってほしい、今後通うであろう中学校に馴染むために友人関係を作ってもらいたい等の思いがある。現在の学区は、現在ある学校によって定められているかと思うので、現在の西小学校及び旭小学校の学区の地域は、統合に当たり学区を考える必要があるのではないか。今は旭小学校に通っているが、統廃合により東小学校まで通うのであれば、大池小学校の方が近いのでそちらに通いたいという思いは出てくると思う。

**事務局**：説明会の中でも保護者から様々な意見が出ていた。配慮事項として、安心安全な通学方法の確保の中で、統合により変更される通学区域については、通学距離及び安全性の観点での必要な検証をしていきたいと考えている。保護者の声を踏まえて、既存のものをそのままとするのは難しいという印象を受けたので、今後学区の検証も含め対応していきたい。

**委員**：統合前後における子どもたちの心のケアについて、子どもたちのためにということが協調されており、それは当然なので良いことだとは思いますが、保護者の心のケアも必要かと思うので同時にケアしていくことを示せたら良いのではないか。親が不安に思えば、子どもにも伝わり不安になると思う。

**事務局**：統合前後の子どもたちの心の負担軽減という中に謳っているが、統合して良かったと思えるような環境整備を務め、それにより子どもたちが統合して良かったと思うことが保護者の安心に繋がるのではないかと考えている。具体的な学校間の交流等の計画を学校と連携して行っていきたい。

**教育長**：案の状態では、跡地利用等も含めなかなか踏み込んで議論ができない

段階である。方針が議決することが先に進むための大きな一歩であると思っている。

**委員**：学童保育について、親にとって重要なことだと思うので項目が追加されて良かったと思う。

**教育長**：この件について確認する。教議第8号「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（委員全員から賛成の声）

**教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第8号については、原案どおり決定した。

**教育長**：次に報告事項に入る。始めに、教報第8号「伊東市教育委員会の自己点検・評価シートの修正について」を議題とする。

（事務局から資料に沿って説明）

**教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：国の整備方針を踏まえて目標立てているかと思う。8月15日の新聞にて記事になっていたが、全小中高に10ギガの通信網を配備することを閣議決定し、2022年度中の整備完了を目指すとのことだ。これにより、新たに補助金が下り、ICT整備の目標に加わるかと思う。結局は国次第であり、国の予算次第ではないか。市の財政的にやれる範囲が限られてしまうのは仕方なく、できる範囲で評価するのは妥当であろう。

**教育長**：今後ICTの整備はしっかりと行っていかなければならない課題であり、教育委員会としても要望を出し進めていくべきだと思っている

**教育長**：次に、教報第9号「令和2～5年度使用の小学校用の教科用図書の同意書について」を議題とする。

(操上教育指導課長より資料に沿って説明)

**教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**教育長**：次に、教報第10号「令和2年度使用の中学校用の教科用図書の同意書について」を議題とする。

(操上教育指導課長より資料に沿って説明)

**教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**教育長**：以上で報告事項を終了する。

**教育長**：次に、その他に入る。「各課報告」を議題とする。

**岸次長兼教育総務課長**：教育総務課から令和元年度実施伊東市教育機関職員採用試験受付状況について報告する。7月28日(日)に第1次試験を行った。8月24日(土)に第2次試験として、作文と集団討論の試験を実施する。第2次試験の合格者は9月5日の試験委員会で決定され、9月28日(土)に第3次試験を行う予定である。

**操上教育指導課長**：教育指導課から生徒指導について1学期のまとめとして報告する。問題行動については、小学校でその他の不健全非行があるが、これは1, 2年生くらいのちょっとしたいたずらや隣の子の物を投げてしまう等が該当している。小中学校共に比較的落ち着いているように感じるが、小学校の5, 6年生の問題行動が多く報告されていることが気になる。いじめについては、中学校で小学校時代から引きずっているような事案が見受けられる。大きないじめは起こっていない。不登校については、ケース会議の回数が増えており、個々の事案に学校だけでなくスクールソーシャルワーカーや福祉関係機関等も含めて対応できているのでとても良いことだと思う。子ども同士の揉め事が保

護者同士の問題まで発展してしまい、解決がとても難しくなってしまう事案がある。地域での保護者の信頼関係や人間関係が上手くいっているとこのような問題は起こらないのだが、なかなか難しくなっていると感じる。

**稲葉幼児教育課長**：幼児教育課から2点報告を行う。1点目は、伊東市立鎌田幼稚園及び南幼稚園の休園について報告する。7月31日に市議会及び福祉文教員会にて報告し、今年度末をもって2園を休園する。令和元年度の園児数は鎌田幼稚園15人、南幼稚園18人である。休園の理由として、園児数が少ないため令和2年度に運営したとしても各園10人に満たない可能性があり、子どもたちにとって望ましい環境とは言えないだろうと判断した。両園の保護者、該当地域の2歳児の子どもを持つ保護者及び区長には説明をし、了解を頂いている。休園後の活用については、現時点で具体的な計画はないが、地域の方々から意見を頂き、地域の子どもたちが利用できる場所としての活用を第一に考えていきたいと思っている。

2点目は、伊東市子ども子育て支援に関するニーズ調査集計結果報告書について報告する。

(稲葉幼児教育課長から資料に沿って説明)

**杉山生涯学習課長**：生涯学習課から小学生の船について報告する。昨日熱海港を出発し、明日まで大島に滞在する。昨日は三原山に登り、無事に下山し宿に着いたとの報告を受けた。

**教育長**：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**教育長**：その他何かあるか。

**委員**：文部科学省が不登校の要因を把握するため、学校を通さずに児童生徒から直接聞き取りを行うことも含めた詳細な調査を検討しているという新聞記事

を見た。この件についてどう思うか。

**操上教育指導課長**：県教委から情報は一切なく、私共も新聞で知った。直接としているが調査方法も全く分からず、具体的な情報が無い。文部科学省は、従前の調査方法での結果に対して、いじめを原因とした不登校が非常に少ない訳がないと思い、直接調査しようとしているのではないか。

**委員**：不登校の数が増えており、対処出来ていないというジレンマがあるのだと思う。

**委員**：幼稚園が次々に休園になって少なくなっている中で、今後に向けて話し合う会合が起ち上がったことはとても良かった。先生たちがやる気を失ってしまう雰囲気が出てしまうのではないかと心配なので、幼稚園の良さをアピールし、幼稚園の存在を大事にしていける方向へ進んでほしい。

**稲葉幼児教育課長**：公立幼稚園の意義はあると思っている。先生方が将来どうなるのだろうと不安に思うことは分かるので、頑張って働いていけるような環境づくりをしていきたい。

**教育長**：今後の日程について確認する。

9月の定例会については、9月18日（水）午後2時30分から

10月の定例会については、10月16日（水）午後2時30分からを予定している。

**教育長**：以上で伊東市教育委員会8月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃